

令和5年度
第1回
三重県地方創生検証会議
令和5年6月9日(金)

資料①

三重県の人口に関して



G7三重・伊勢志摩
G7 Transport Ministers' Meeting in Ise-Shima, Mie
交通大臣会合
2023.6.16 Fri ▶ 6.18 Sun
三重県志摩市で開催

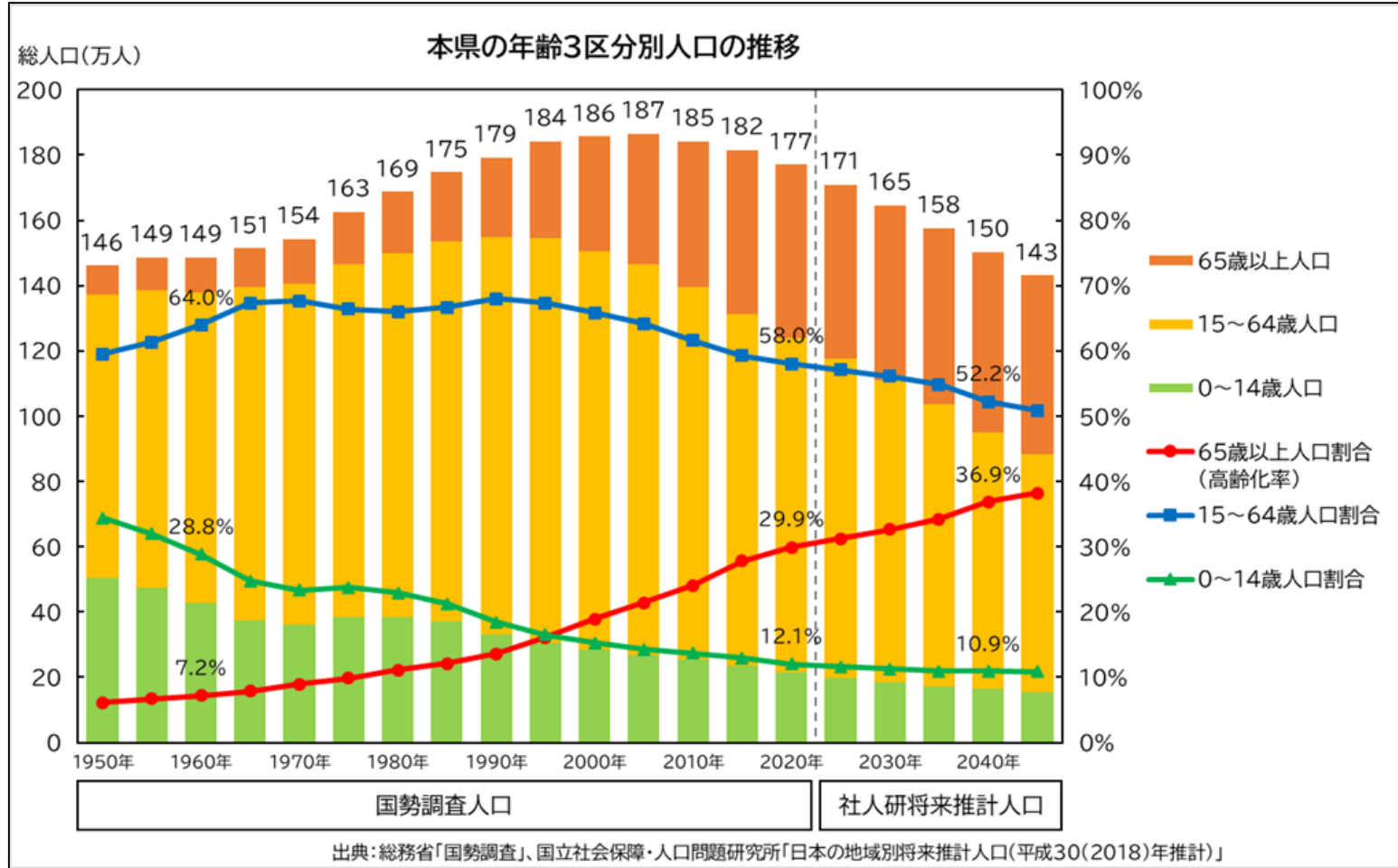
G7三重・伊勢志摩交通大臣会合推進協議会

写真提供：三重フォトギャラリー

The poster features a scenic view of the Ise-Shima archipelago with blue water and green islands under a bright blue sky with scattered white clouds. The text is overlaid on the top half of the image.

三重県の人口に関して

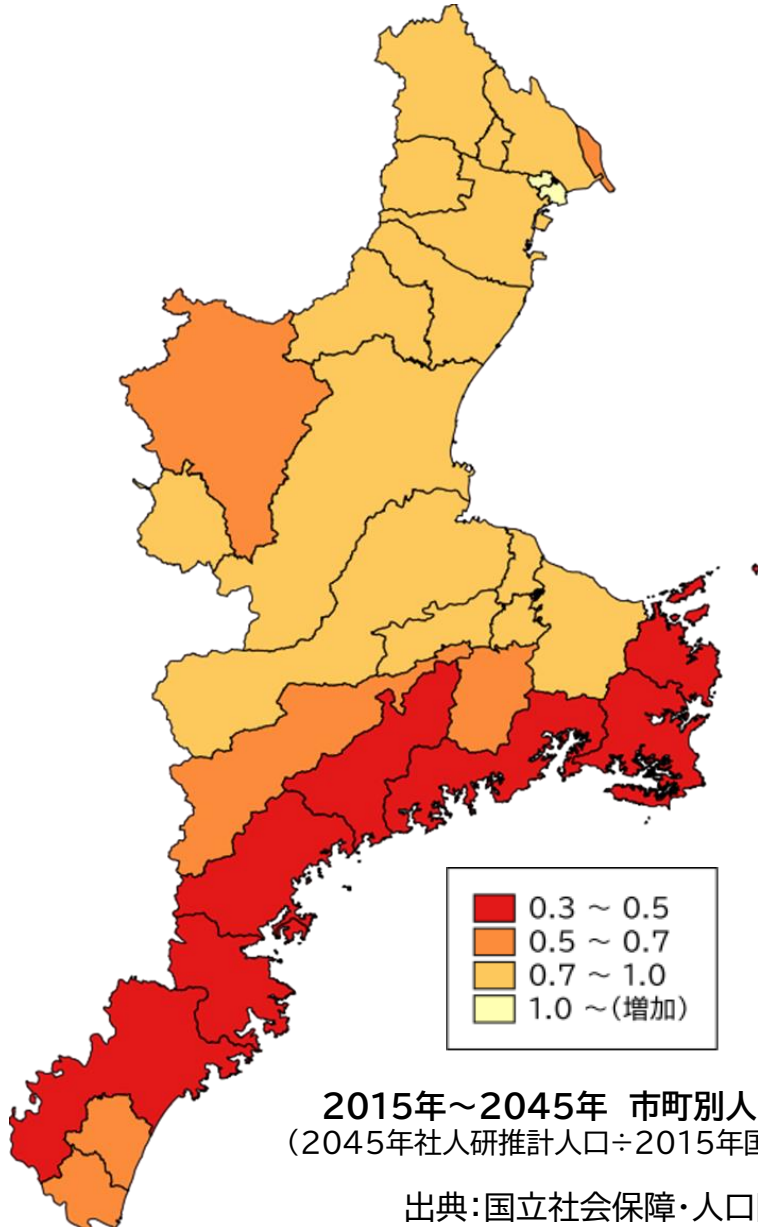
◎三重県の人口と将来推計



- 2020年の総人口は177万人。ピーク時に187万人だった人口は、**2040年に約150万人程度**となる見込み。
- 2020年に約103万人であった**生産年齢人口は、2040年に約79万人と、約4分の3にまで減少**する見込み。
- 高齢化率**は2020年の**29.9%から、2040年には36.9%**となる見込み。

三重県の人口に関して

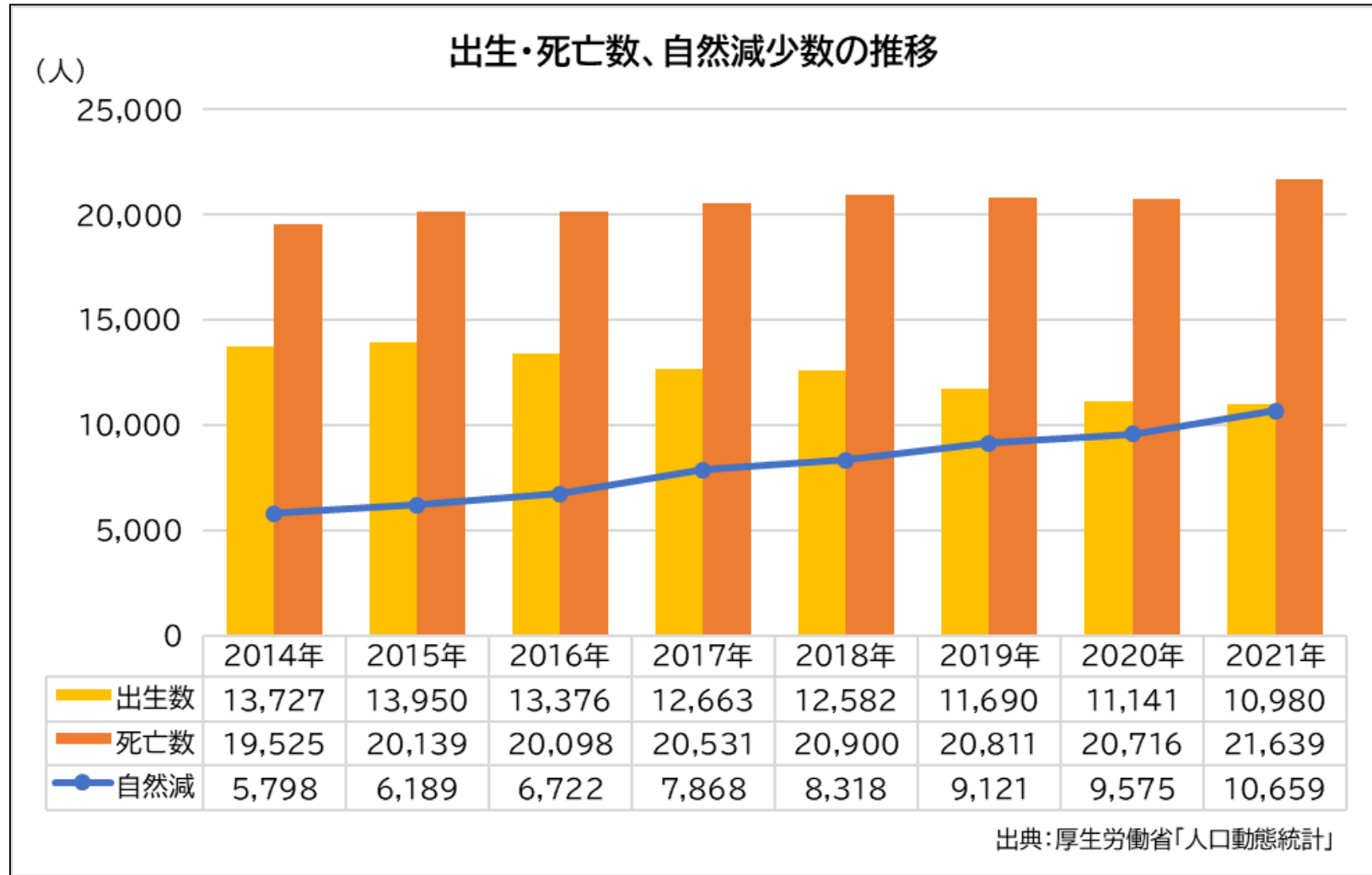
◎市町別人口と将来推計



- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると県内の29市町のうち朝日町と川越町を除く27市町で今後人口減少が進む見込みです。
- 特に県南部地域では減少が著しく2015年から2045年までの30年間で人口が半分以下になると見込まれる市町も存在します。

三重県の人口に関して

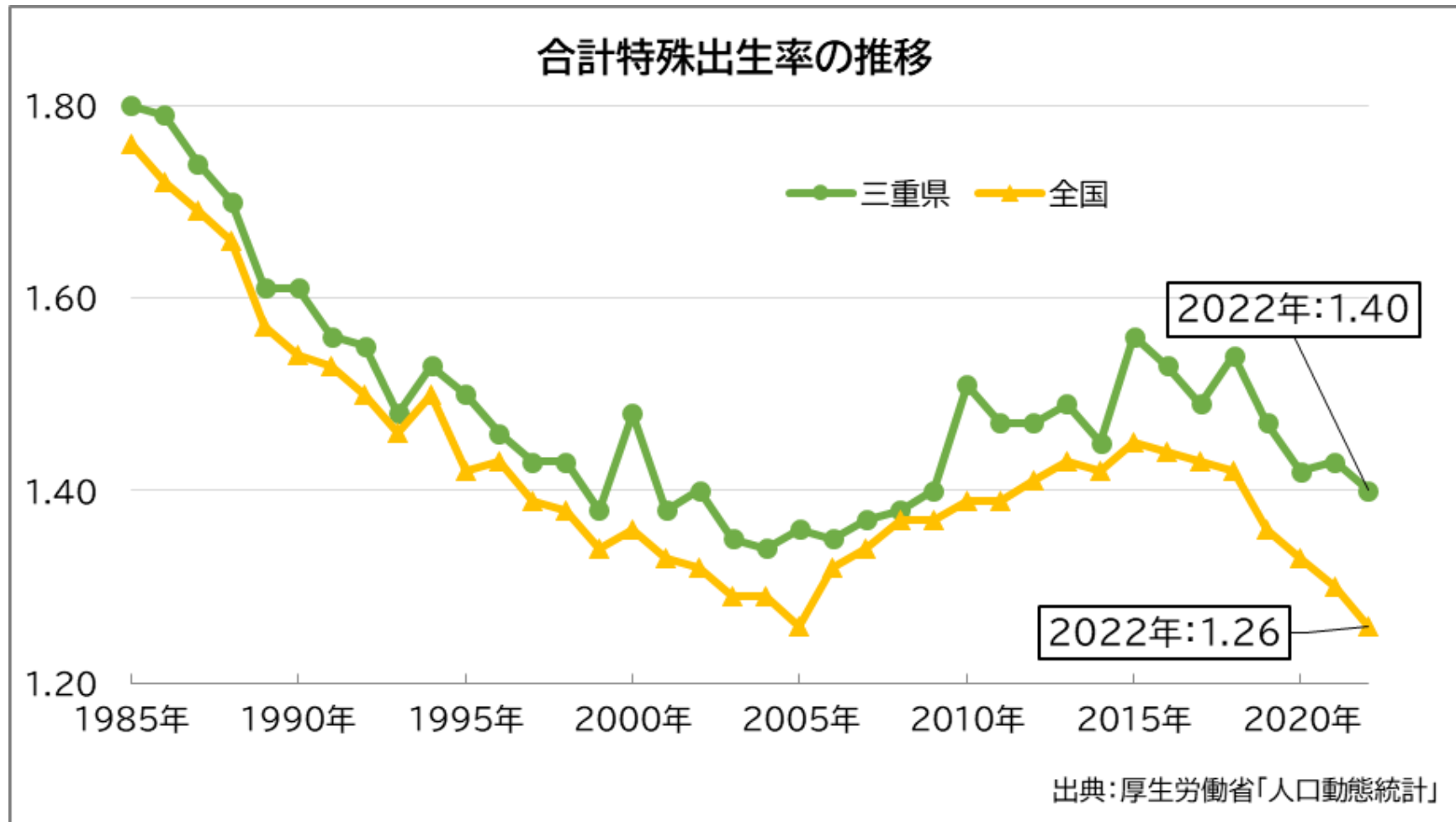
◎自然減の状況



- 死亡数が出生数を上回る自然減の状態にあり、**減少幅は2021年に初めて1万人を超える。**
- 少子化による出生数の減少と高齢化による死亡数の増加が同時に進行しており、**減少幅は今後も拡大する見込み。**

三重県の人口に関して

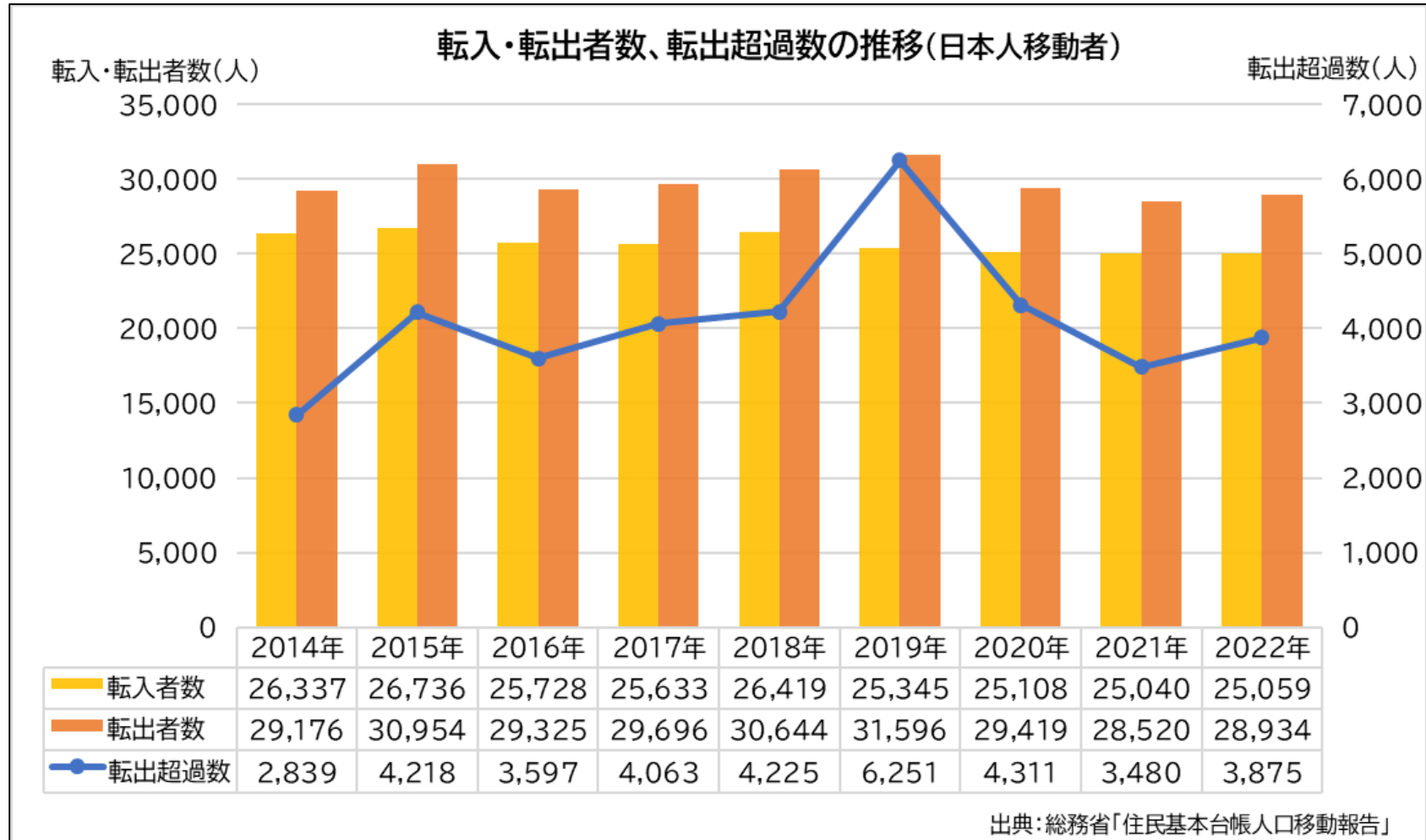
◎自然減の状況



- 本県の合計特殊出生率は、1.40(2022年)。
- 全国値(1.26)よりは高いものの、これまで目標として掲げていた希望出生率1.8台とは乖離がある状況。

三重県の人口に関して

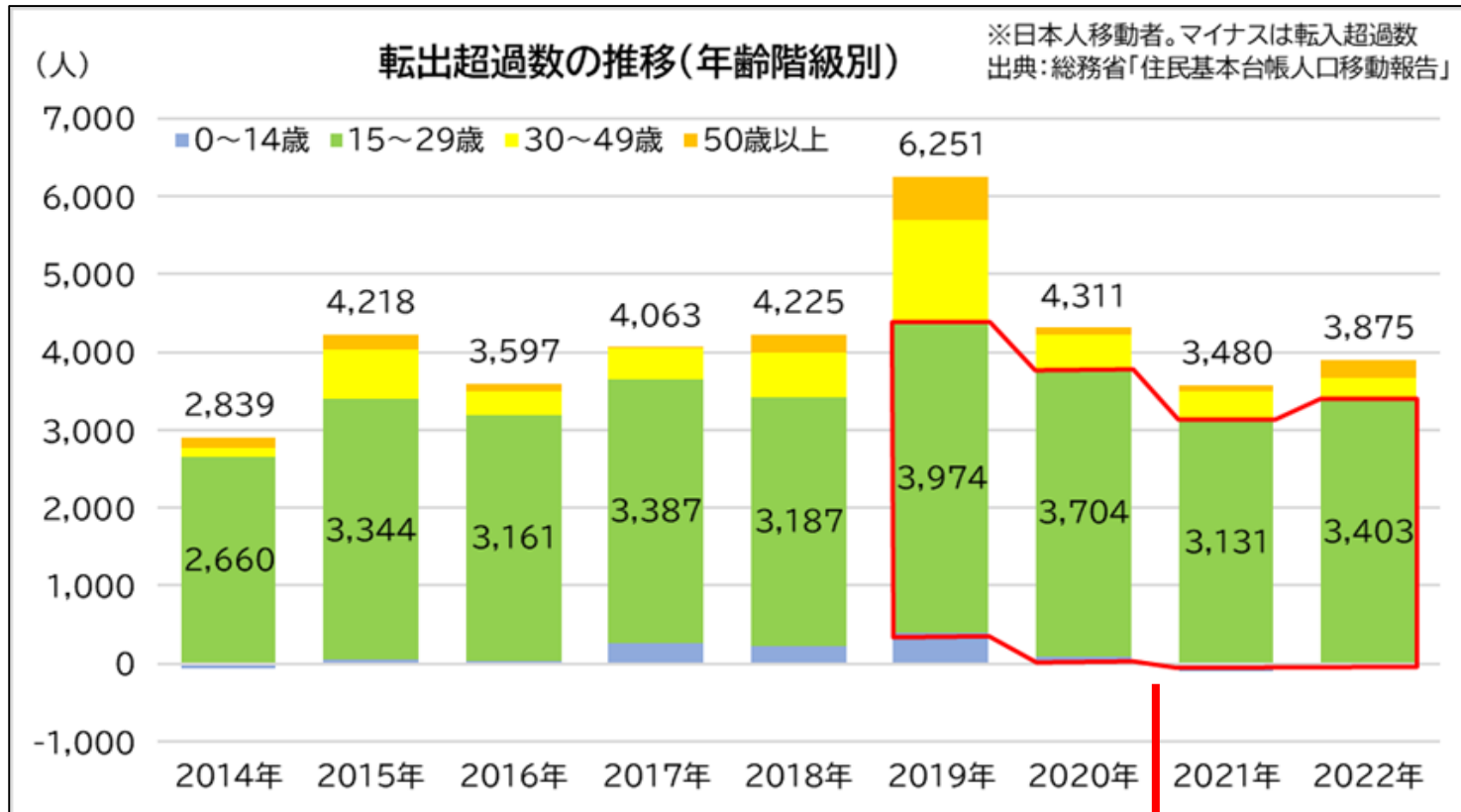
◎社会減の状況



- 年間の転出者数が転入者数を上回る社会減の状態にあり、県外への人口流出が続いている。
- 転出超過数は、近年4,000人前後で推移している。

三重県の人口に関して

◎社会減の状況



15~29歳の転出超過数の男女構成

	男2019	男2020	男2021	男2022	女2019	女2020	女2021	女2022
15~19歳	384	458	421	431	388	290	399	422
20~24歳	676	721	648	482	1,384	1,272	1,130	1,236
25~29歳	494	436	147	351	648	527	386	481

- **転出超過数の約8割を15歳~29歳の若者が占めており、進学や就職がその主要因と考えられる。**
また、そのうち約6割を女性が占めている。

人口減少により懸念される影響

日本全体への影響

- ・人口が減少することにより消費等の需要が減少
- ・働く世代の割合が減少し、高齢者など支えられる世代が増加していくことで経済成長の鈍化や生産性の向上が停滞

地域への影響

- ・商業施設、医療関連施設、社会福祉施設、地域公共交通といった身近な施設やサービスが縮小、撤退
- ・税収が減ることで行政サービスの水準や社会資本の維持が困難に
- ・自治会・消防団など地域コミュニティの担い手が不足することで、住民同士の交流や伝統文化の継承、地域の防災活動などが滞る

 **地方創生の取組の重要性が高まっていく**